

ボーリング大会



6月25日(土)
結いの会の企画で
岡山フェアレインで行
われました。

通所者+OB+職員の
総勢15名でにぎや
かな大会となりました。

ここ数年はコロナの
影響でボーリング大
会を中止していたた
め、みんなこの日を
とても楽しみにして
いました。今までは、
喜楽・わくわく!で
区切らずグループ分
けしていましたが、ま
だまだコロナの不安も
あり、各事業所ごと
のレーン設定での大
会となりました。



結い だより

第66号
発行
社会福祉法人 結い
〒703-8255
岡山市中区東川原18-1 203
TEL 086-206-7385
FAX 086-206-2801
発行責任者
前田 勝子



パワフル投球の人・黙々と投げる
人・わいわいキヤーキヤーと盛り上
がる人・独特のフォームで点数を上
げていく人。

今回は上位者から商品を選んでい
く方式にしてみました。

上位4名までには商品が登場!
Yショップ商品券・喜楽弁当券・某
ドーナツ屋の商品券・コンビニクオ
カードと充実のラインナップです。

結果発表

- 1位 一さん(喜楽)
- 2位 Oさん(喜楽)
- 3位 Hさん(喜楽)
- 4位 Mさん(喜楽)

無料券 商品券

いつもと違う仲間の姿に「え!す
ごう!上手!上手!」(パチパチパチパ
チ)頑張つて、キヤーおしい
〜!と歓声が上がっていました。

体と脳をフル活動させた一日とな
りました。

Yショップ 周年祭を開催しました

例年は年度初めの4月に3
日間、Yショップのお誕生日で
ある「周年祭」を開催してき
ましたが、密を避けて皆さん
に喜んでもらうには?とみん
なで考え、今年はいつもとより2
か月遅れの6月13日(月)〜
17日(金)の5日間に延ばし
ました。目玉商品は7月から
は値上がり予定のヤマザキ主
力の「パン」お菓子「80点。



5日間で477名のお客様にご来店
いただき、17万円の売上となりま
した。

昨今生活必需品の値上げが相次
いでいます。やむを得ず価格改定す
る商品もありますが、お客様に必
要な商品を納得のいく価格で販売
できるよう、スタッフ一同がんばり
ます。

お近くへお越しの際は
ぜひご来店ください。



喜楽の赤字脱却に向けて

この間の取り組みをふりかえって

喜楽所長 早瀬文香

昨年度は黒字に



就労継続支援B
型事業所はこの5
年間毎年赤字が
続き、黒字化への
転換は事業継続の
差し迫った課題で
した。昨年度、新
規通所者の増加と
相まって宅配弁当
屋喜楽も大きく
収益を伸ばし、5
80万円の経常増
減差額を生み出
すことができました。
赤字脱却に向
けてこの間感した
ことを振り返って
みたいと思います。

年間就労継続支
援B型事業所で働
く当事者の方が手
にする一カ月の給
料(工賃)は、全国
平均で15,776
円。もちろん働
く時間や日数は人
によってさまざま

みんなの力の結果で



ですが、人がひとり精一杯働いて手
にするこの金額をみなさんはどう思
われるのでしょうか。障害があるか
ら仕方ないこと、と片付けるのは簡
単ですが、その方が生きていく上
で、人としての尊厳にかかわること
です。給料が多いと自分の働きが認
められたと感じるのは誰しもそうで
ないでしょうか。

統括の高橋さんはいつも言います。
「うちのメンバーさんは、みんな自分
の持ちうる150%の力で仕事に向
き合っている。今の福祉施策は生産
性偏重主義に偏りつつありますが、
数字では測れない努力や思いがB型
事業所にはあります。そして、その
ひたむきなみんなのパワーを一食一
食のお弁当の売り上げにどうつなげ
ていくのか、B型事業所の職員と
しての力量のみせどころです。」

昼夜逆転でも夜中3時に起きてそ
のまま朝の厨房に入るメンバーさ
ん。パソコンは打てなくても、職員の
受注入力ミスをいつも指摘してくれ
るメンバーさん。100食以上並ぶ
お弁当箱の中から、おかずのがんも
の入れ忘れを見つけるメンバーさ
ん。そんなみなさんの力でもって、今
の喜楽は250食のお弁当をお客様
に毎日お届けできています。

原点に立ち返り



みなさんの力を信じてたよりに力
を発揮してもらおう。究極目指すと
ころは、表舞台でメンバーさんが活
躍できるように職員は黒字に徹す
る。これに尽きると思っています。

先日、大雨警報が出てほとんどの
メンバーさんの通所が止まりまし
た。現場の職員さんは言いました。
「みんながいらないと喜楽がまわら
ない。無理やりその日の業務を終わ
らせた職員はみんな疲れ切り、あら
ためてメンバーさんの力を認識した
一日となりました。」

メンバーの工賃を上げるために売
上をあげないと!と、職員が商売に
かかりきりになり、気がつくとも居場
所が感じられなくなったメンバーさ
んは減っている。今度は職員を雇い、
経営状況は悪化。正直なところ、そ
のような時期もありました。そして
原点回帰。誰のための喜楽なのか、
私たち職員の役割はなんなのか、職
場会議を何度も重ね、5年ぶりに
やっと赤字を脱却することが
できました。

商売と支援の両輪のバランスをど
う取るか、答えが分からず右往左
往した日々もある種必要
だったのかもしれない。

結い後援会への新規加入と継続のお願い

私達は、障害を持って生きていかなければならない人々へ、温かい行政と財政支援を
要求するべく、今後も努力し続けます。しかし、私達の力だけでは微々たるものです。
ぜひ「結い」後援会にご加入いただき、私達の活動を支援してくださいませよう
よろしくお願い致します。

また、2022年度分の会費未納の方につきましては、継続してご協力いただけます
ように何卒よろしくお願い申し上げます。

<振込先> 郵便振込口座 01360-0-57757
社会福祉法人「結い」後援会
(個人:年1口 千円 団体:年1口 3千円)

2021年度事業報告

ワークハウス・わくわく!



就労継続支援B型事業について

2021年度の障害者福祉サービス事業収入は、前年度とほぼ変わりませんでした。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自宅待機、在宅勤務を設け、作業の場を限定し移動制限(6月～12月)を行いました。幸い新型コロナウイルスによる閉所はなく、利用者の働く場を維持できました。しかし様々な制限下でメンバーさんの望む自分らしく活動できる居場所としての機能を果たすのは難しかったです。

2021年秋から職員の入れ替わりが発生し、十分な研修期間を設

けられないまま現場作業やメンバーさんに関わるようになってしまったこともありました。関わり方の構築・障害への理解が不十分では、時として誤解を生むコミュニケーションとなってしまうこともありましたが、年度をまたぎ改めて仕切り直しをし、定例会議や日々の申し送りの中で仕組みが整ってきました。

洗濯・封入れ作業



2021年度軽作業全体売り上げは720,258円増の9,043,040円でした。

変化した点

洗濯では林病院入院患者様の洗濯物の量がコンスタントに増え、前年度と比べ553,937円増の5,623,601円他、さくら苑リハビリセンター様の一回当たりの定額洗濯料127,800円増の2,254,544円と大きく増えています。洗濯物は新型コロナウイルス感染症拡大による外出制限や面会制限が継続

され、家族サポートから業者洗濯への乗り換えがありました。

支出に関しては、受注増に伴い洗濯回数が増えた分支出も増え、新たに業務用洗濯機を購入しました。人手不足の問題には、臨時手当てを4回実施し条件のある方の来所を促す策をとりました。

工賃は前年度より709,800円増の5,050,135円、年間延べ352人から368人ですが、コロナ禍にもかかわらず頑張ってきたメンバーさんの成果を工賃へと結びつけることができました。が、長期休養となつていいるメンバーさんの継続的な来所の動機とはならず、自分らしく働ける場所として、職員のかかわり・動線づくりが課題となりました。

Yショップ



2021年度の病院内売店事業の売上は予算に対し94%でした。

新型コロナウイルス禍で面会者の立ち入りが制限され減つてしまった来店客の売上を補うことができませんでした。また、臨時休業や営業時間の変更を行ったことも売り上げ減に影響しました。

支出に関しては、ベテランメンバーさん1名が長期休養に入り、工賃は前年度より268,975円減と大きく下がりました。来店者数減少と営業時間の短縮・仕入れ減少もありましたが、材料費高騰による売り上げや費用への影響は、2021年度については特に見られませんでした。

Yショップは2014年4月のリニューアルオープン時より、ほぼ固定されたメンバーさんで運営を行ってベテランとなつてきましたが、初心者の方は作業の場に入りづらく、後進育成はできないままになってしまいました。

今後はメンバーさんの希望に応じ作業の体験やシフトが設定できるように体制を整えていきたいと思っております。



2021年度事業報告

喜 楽



就労継続支援B型事業について

2020年度までは外部からの見学依頼も含め全く動きが見られない状況が続いていましたが、今年度に入り11名の新規通所者の受け入れを行いました。傾向としては、これまでに就労継続支援A型事業所や一般就労での経験がある方たちが多く、喜楽事業所の方たちも職場にも近い仕事のあり方を見て選んでいただいています。このように新しいなかまを迎え入れたことで延通所者数も3726名と前年度に比べ延948名の利用増につながり障害福祉サービス事業の収益が大幅に改善しました。

2021年度の特徴としては、新しく導入支援部門として職員を配置し、新規の緊張の強いメンバーさんが安心して新しい職場に慣れていけるような仕組みづくりを行いました。また、求職活動支援を目的とした2名の利用があり、障害者雇用枠での一般就労と就労継続支援A型事業所へそれぞれ就職となりました。今後は、再度A型やアルバイトへの挑戦を目指す求職支援についてもさらに取り組みを行っていききたいと思えます。

宅配弁当喜楽



宅配弁当屋喜楽の弁当事業売り上げについては、こちらも新たな委託販売先の開拓及び季節食の販売により順調に推移し、前年度比6,557,360円増の25,930,747円となりました。

とりわけおせち販売については89食、恵方巻については98本と計画的な営業活動が功を奏し前年に比べ倍の受注をいただくことができました。



費用としては新しいメンバーの受け入れとともにひと月あたりの工賃支出の増加が見られました。引き続き障害のある方たちに1円でも多くの工賃を支給できるよう、その収益確保に取り組んでいきたいと思えます。



合わせて消費税時に更新ができていなかった受注配達ソフトについて、ヤマト福祉財団より障害者の工賃UPを目的とした設備投資への助成を199万円いただき、2022年1月からは新しい受注配達ソフトを導入しました。これにより、配達員が配達する数量の把握がしやすくなり、複数税率に対応する請求書の発行が可能となりました。

ご好評をいただきました

おせち



恵方巻き



お花見・行楽弁当



日々のお弁当と共に季節のお弁当も頑張っています。お客様の健康と笑顔に思いをはせ、心を込めて♪

